

WindowsでのHelix Coreサーバの開始と停止

Tips

ここではWindows OSにインストールしたHelix Core(Perforceサービス/Helix Core Serverサービス)の開始/停止方法について説明しています。

■ サービスダイアログからの開始

Helix ServerがWindowsサービスとしてインストールされている場合、管理者権限を持つユーザは、[サービス]ダイアログを使用して、サービスを開始/停止できます。
Helix CoreサービスはHelix Core Server Windowsインストーラを実行してインストールします。

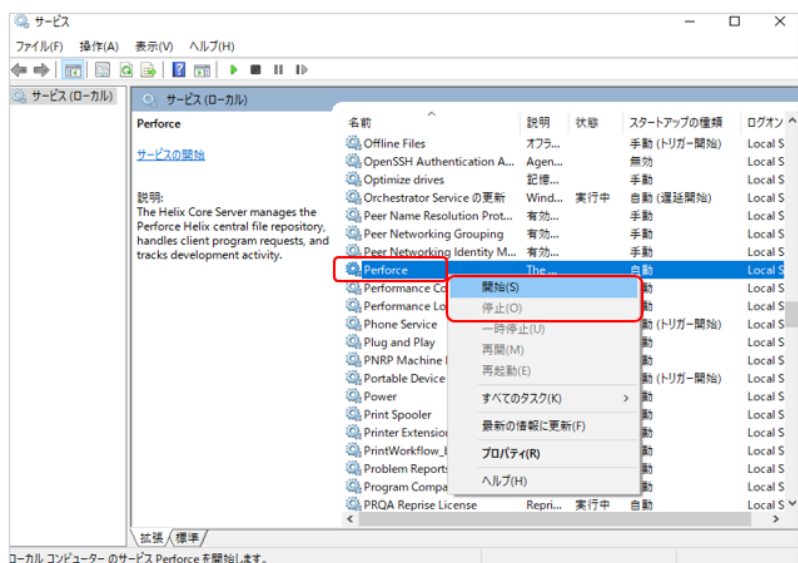
サービスを開始するには：

[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[管理ツール]→[サービス]で利用可能なWindowsサービスの一覧が表示されます。
"Perforce"または"Helix Core Server"サービスが表示されるまで下にスクロールします。

サービス名を右クリックし、[開始]を選択します。

※使用するバージョンにより"サービス"を開くまでの表示項目、手順が異なる場合があります。

図：サービス名"Perforce"の場合



■ Helix Core Serverを手動で起動する

通常、サーバ実行可能ファイル"p4d.exe"は"P4ROOT"ディレクトリにあります。
サーバを起動するには、現在のP4ROOT・P4PORT・P4LOG・P4JOURNALの設定が正しいことを確認してから、次のコマンドを実行します。

実行コマンド

```
%P4ROOT%\p4d
```

P4ROOT・P4PORT・P4LOG・P4JOURNALで設定されている設定とは異なる設定を使用してサーバを開始する場合は、p4dコマンドラインフラグを使用します。※大文字/小文字は区別されます。

実行コマンド例

```
p4d -r D:\Perforce -p 1999 -L p4d.log -J E:\PerforceJournal\journal
```

■ WindowsサービスとしてHelix Coreサーバを開始する

実行コマンド例

```
net start Perforce
```

※ **Perforce** : サービス名を指定。

■ Windowsサービスとして実行しているときにHelix Coreサーバを停止する

HelixサーバをWindowsサービスとして実行している場合は、データベースの整合性を維持し、スクリプト作成時のタイミングの問題を回避するために、次のコマンドを使用してサービスを停止することをお勧めします。

実行コマンド例

```
svcinst stop -n "Perforce"
```

※ **Perforce** : サービス名を指定。

※ 32ビットバージョンのWindows Helix Serverを実行している場合

<ftp.perforce.com/perforce/tools/svcinst/bin.ntx86> から"svcinst.exe"ツールを入手する必要があります。

■ Helix Serverを手動で停止する

コマンドプロンプトでHelix Serverを"p4d.exe"として実行している場合、サービスコントロールマネージャは使用できません。次のコマンドを使用してHelix Serverを停止することができます。

実行コマンド

```
p4 -u super -p server:port admin stop
```

・ **super** : スーパー権限ユーザ

・ **server:port** : 対象のサーバとポートを指定

■ 補足

- ・ サービスの開始時にエラーが発生した場合、またはサービスの起動に失敗した場合、Helix Serverログを確認して原因を特定します。
デフォルトでは、ログファイルは"log"という名前で、"P4ROOT"ディレクトリにあります。
- ・ Windowsのスレッドを強制終了しないでください。デッドロックや破損を回避するには、Helix Serverを停止してから再起動することをお勧めします。